

## バリ・カンファランスのご案内

村研では通知したところですが、今回、バリ島北部古都シンガラジャにおいて村落的共同性をめぐる「バリ・カンファランス」を開催することにしました。これは、日本の事例を基準にして村落的共同性の比較研究を行おうとする研究プロジェクト（「村落的共同性をめぐる日・バリ比較研究」プロジェクト、研究代表者：長谷部弘）の中間報告会を兼ねて、現地ガネシア教育大学の支援のもとに実施するものです。バリ観光ではあまり馴染みの無い、バリ北部の農村地域や地域市場を中心としたエクスカージョンを企画しています。

注意点ですが、カンファランス・ツアーは、以下の二泊三日のみをカバーする企画です。原則、8月30日朝に現地集合、9月1日夕方5時前に現地解散です。参加される方には7月初旬までに、集合場所等詳細なスケジュールを連絡します。現在、集合と解散はデンパサール空港を予定していますので、特に9月1日の夕方にデンパサール発のフライトを利用する方も可能なスケジュールを検討しています。

※必要であれば8/29の宿泊ホテルを主催者側で斡旋することも可能ですので、29日中のバリ島着フライトを利用することも可能です。

日本～バリの往復およびツアー前後の日程や宿泊などは、参加者各自がフライトチケットは飛行機会社、宿泊ホテルはブッキング・コムないし旅行代理店などを利用して自由に御企画ください。ちなみに、最短で8月29日夜にデンパサール到着～9月1日夕方デンパサール発のフライトも可能なようには設計いたしますが、なるべく余裕を持って9月2日以降に帰国便をとることをお奨めします。

※6月4日時点でまだ8月下旬から上旬にかけての「羽田・成田～デンパサール」のフライトチケットは手数料込み12万円前後からまだ充分とれる状況です。早めにご予約くださいますように。

以下の日程がカンファランスの内容です。ただし、訪問スケジュール（特に三日目）は現地の事情と時間の関係でいくつか変更ないし中止になる可能性があります。

### ○カンファランス日程（8月30日～9月1日）

・8/30 10:00 デンパサール出発  
バリ南部水田耕作地帯（棚田）を見学し、タンビンガン・ブヤン湖を通過して山越えし、シンガラジャに行きます。タバナン・スバック博物館、棚田、地域市場、シンガラジャ・スクンブル村訪問、ナイト・マーケット見学等を予定しています。

・8/31 カンファランス（於ガネシア教育大学）：講演（ワヤン氏「バリ・日交流と三浦襄」）、自由報告（岩本由輝先生等）、バリ北部村落調査報告（イカデ・村山・山内・長谷部・高橋他）。夜：ホテルにてレセプション開催。

・9/1 エクスカージョン：ブレレン県内農村見学、タジュンの最古チョウジ林農園とバリ・ワイン工場見学）、キンタマーニ山岳寺院見学・昼食・ミカン園見学、ウブド見学、デンパサール芸術村見学（絵画美術品・銀製品・布製品等々）、夕方デンパサール空港解散（各自自由に行動ないし帰国）

○日本側 20名程度の参加を見込んでいますが、費用は参加希望者数によって上下しますので現時点では未確定です。もし20人集まれば、バス代・宿泊代・レセプション費＋諸費用で一人あたり3万円前後（場合によってはもっと安価）と試算しています。

参加していただける方は、どうぞ長谷部までご連絡ください。皆さんのフライトチケット取得とあわせて6月20日頃をめどにお知らせいただければありがたいです（シンガラジャのホテルには7月初旬に正確な人数を伝えることになっています）。

※当初締め切りを早期（四月末）に設定し、参加案内を村研通信等でアナウンスしていましたが、現地業者等との交渉に案外手間取り、みなさんへの本格的な通知が今頃になってしまいました。ご了解ください。

